

知事から各部長への指示事項

- 全国の感染状況は再拡大に転じています。
本県も本日、過去最多の新規感染者が報告されましたので、特に、以下の点について、関係の部は留意して取組むようお願いいたします。

<保健・医療提供体制の確保>

- 感染者の再拡大に備え、医療施設、宿泊療養施設の受入体制の準備に万全を期してください。
あわせて、宿泊療養施設については、変異株の特性、感染状況を踏まえた必要室数の確保に、引き続き努めるようお願いいたします。

- また、これだけ感染者数が増えると、自宅療養者の増加も想定されますので、引き続き、特に高知市とも連携して、しっかりとしたフォロー体制を取ってもらうようお願いいたします。

<クラスター対策>

- 高齢者施設、医療施設、乳幼児施設、学校では、連日クラスターの発生が報告されています。
- こうした中、特に入所系の高齢者施設については、クラスターの発生リスクが高く、入所者の重症化リスクが高いことが一番の問題点であるため、対策の強化が求められます。
- したがって、支援が必要と考えられる高齢者施設への個別指導とあわせ、クラスター発生時の医療提供、医療支援体制の整備を引き続き進め、いざという場合には、即座に対応ができるよう、あらためて徹底してください。

<ワクチン接種>

- ワクチン接種については、40代以下の3回目の接種が伸び悩んでいます。県内の感染状況を見ても、接種率が低い年代を中心に感染者数が増えている傾向が見られます。
これは、全国でも同じ傾向にあり、これから8月までに国を挙げて、特に若年層向けの広報強化を図る方針が決定されています。

本県でも、広報をさらに強化するなど、若い世代の3回目のワクチン接種の促進を図ってください。

そして、若い世代に限らず、接種がまだの方については、できるだけ早く3回目の接種をしていただけるよう、あらためて呼びかけてください。

- 4回目のワクチン接種についても本格化しており、対象者は高齢者や基礎疾患などをお持ちの方になりますが、3回目の接種から時間が経過するにつれて、重症化の予防効果も低下していることが見込まれますので、市町村と連携して速やかなワクチン接種を進めるようお願いいたします。

<影響の把握、感染防止対策等の徹底等>

- 各部局、いろいろな行事、イベント等を担当していると思いますので、この第7波に対して、しっかりとした危機感を持って、社会経済活動など、各方面に与える様々な影響の把握に努めてください。
- 高校総体、まんが甲子園などといった全国から参加者が集まるイベントの開催に当たっては、感染防止対策を徹底した対応をお願いいたします。
- 今後、感染拡大に向けた情報収集に関して、あらためてお願いします。現在の県の「対応の目安」については、デルタ株時代の対応をベースとして修正を行っていますが、オミクロン株のBA.5という新系統の株による感染が主流になりつつある中で、現在の「対応の目安」が妥当かどうかについて、十分吟味が必要だと思えます。
- 本来であれば、国がしっかりと海外も含めた知見を蓄積して、新たな指針を出すことが筋であり、全国知事会などを通じて強く、繰り返し申し入れています。国からは新しい方針の提示が十分にありません。
- そのため、今後の感染のさらなる拡大を想定した場合には、次善の策として、すでに西日本では、桁違いの新規感染者数が確認されている県もありますので、そうした各県の対応状況について、情報を収集し、どのような取り組みが行われているのか、どういった対策を講じること

が有効なのか、そういった観点から分析を行い、今後、本県における対応の参考にすることも必要だと思います。

そういった情報収集や分析にも抜かりがないようお願いします。